

SharePoint(Office365)用バックアップアプリケーション

Exceed One Backup

フリーエディション
プロフェッショナルエディション
プロフェッショナルプラス

インストール・更新マニュアル



株式会社エクシード・ワン

目次

1. はじめに	- 3 -
1-1 エディションについて	- 3 -
1-2 マニュアルの説明	- 3 -
2. インストール	- 4 -
2-1 インストールの流れ	- 4 -
2-2 SharePoint Online の設定	- 5 -
2-3 Azure Active Directory の設定	- 10 -
2-4 EOB の起動方法	- 19 -
2-5 画面説明	- 20 -
2-6 ライセンス登録	- 22 -
2-7 サイト設定	- 23 -
2-8 Office365 サインイン	- 25 -
3. ライセンス更新	- 26 -
3-1 ライセンス更新の流れ	- 26 -
3-2 SharePoint Online の設定	- 27 -
4-3 Azure Active Directory の設定	- 31 -
4-4 サイト設定	- 35 -

1. はじめに

『Exceed One Backup』(以下、EOB は、SharePoint Online 上のデータを PC のストレージへ保管するアプリケーションです。

EOB に関する最新の情報は、当社ホームページもしくは製品ページを参照ください。

当社ホームページ：<http://www.exceedone.co.jp>

製品ホームページ：<http://www.exceedone.co.jp/eob/>

1-1 エディションについて

本製品はエディションによりバックアップできるサイトが異なります。

サイト	プロフェッショナル	プロフェッショナル プラス
一般サイト	○ バックアップ可能	○ バックアップ可能
個人用サイト (OneDrive for Business)	× バックアップ対象として 選択できません。	○ バックアップ可能
グループ用サイト	× バックアップ対象として 選択できません。	○ バックアップ可能

エディションによる操作の違いは、操作マニュアルを参照してください。

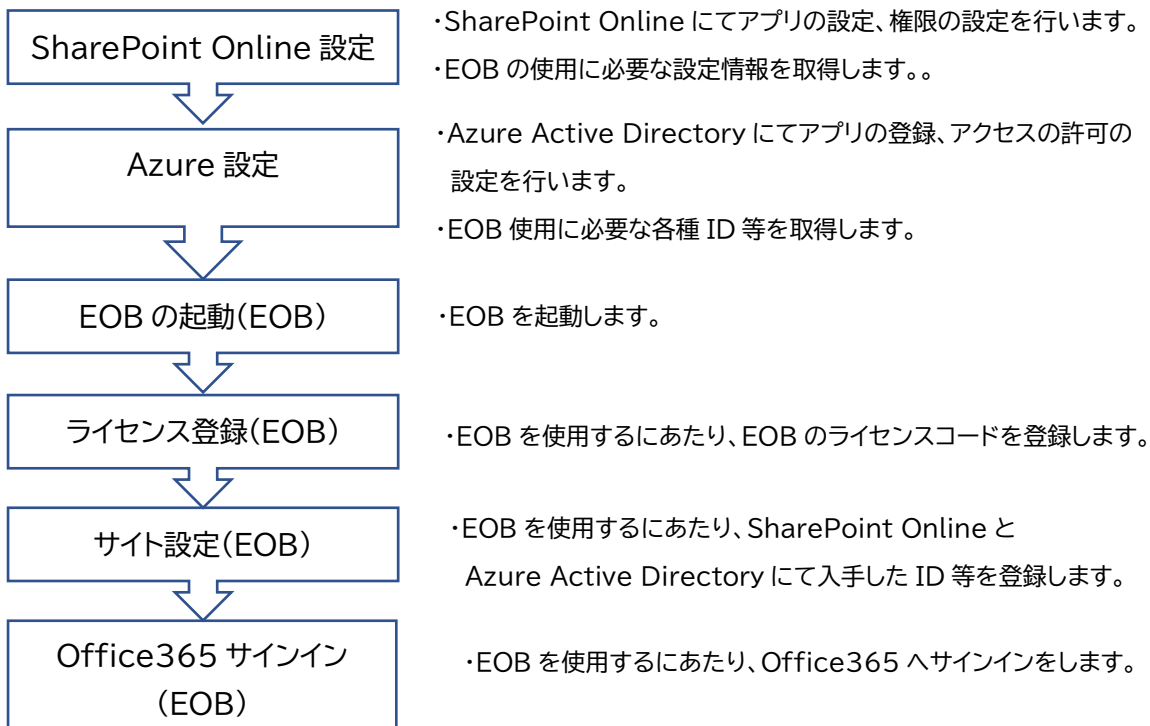
1-2 マニュアルの説明

- ① 「1. はじめに」では、本マニュアルについて説明いたします。
- ② 「2. インストール」では、EOB を利用するまでのインストール方法を説明いたします。
- ③ 「3. 更新手順」では、EOB に必要な更新手順を説明いたします。

2. インストール

2-1 インストールの流れ

EOB 使用までに必要なインストール～セットアップ完了までの流れを説明します。



注意事項

- ・SharePoint Online・Azure の設定をするには管理者権限が必要になります。
- ・SharePoint Online・Azure 設定にて下記 ID が表示されます。
EOB の設定、再インストール時などに下記のアルファベットにありますが情報が必要となりますので、必ず保管してください。

SharePoint Online

- a. クライアント ID
- b. クライアントシークレット
- c. アプリ ID

Azure AD (Azure Active Directory)

- d. クライアント ID
- e. クライアントシークレット

サイト設定

SharePoint

クライアントID

クライアントシークレット

アプリID

Azure AD

クライアントID

クライアントシークレット

作成 終了

2-2 SharePoint Online の設定

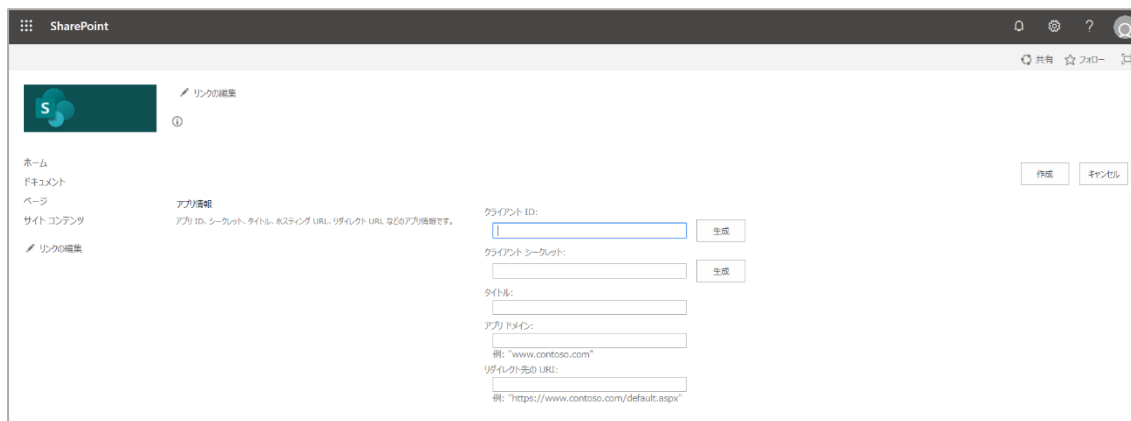
2-2-1 クライアント ID、クライアントシークレットの取得

①以下 URL にアクセスします。

https://ドメイン名.sharepoint.com/_layouts/15/appregnew.aspx

※ドメイン名 契約しているドメイン名

例:mydomain.sharepoint.com



②以下の情報を入力します。

クライアント ID	「生成」ボタンを押下すると、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	「生成」ボタンを押下すると、自動的に入力されます。
タイトル	EOB
アプリドメイン	localhost
リダイレクト先の URI	https://localhost

アプリ情報
 アプリ ID、シークレット、タイトル、ホスティング URL、リダイレクト URL などのアプリ情報です。

クライアント ID:
 生成

クライアント シークレット:
 生成

タイトル:

アプリドメイン:

 例: "www.contoso.com"

リダイレクト先の URI:

 例: "https://www.contoso.com/default.aspx"

③「作成」をクリックします。

クライアント ID:	<input type="text" value="d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26"/>	<input type="button" value="生成"/>
クライアント シークレット:	<input type="text" value="rqqXKzvxDhdohURphSvqGGkj4tac2Fi7ISfs/nRxi"/>	<input type="button" value="生成"/>
タイトル:	<input type="text" value="EOB"/>	
アプリ ドメイン:	<input type="text" value="localhost"/>	
リダイレクト先の URI:	<input type="text" value="https://localhost"/>	
	例: "www.contoso.com"	
	例: "https://www.contoso.com/default.aspx"	
	<input type="button" value="作成"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

④『アプリ ID が正常に作成されました。』と表示されたら、
クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)を控えて下さい。

(サイト設定で必要となります)

アプリ ID が正常に作成されました。	
a.	クライアント ID: d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26
b.	クライアント シークレット: rqqXKzvxDhdohURphSvqGGkj4tac2Fi7ISfs/nRxp98=
	タイトル: EOB
	アプリ ドメイン: localhost
	リダイレクト先の URI: https://localhost

注意事項

- ・クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)の有効期限は 1 年となっております。
- EOB のエラーメッセージに Token request failed. のエラーが出た場合は、クライアントシークレット(b)有効期限が切れている可能性がありますので、「3.更新手順」で再度クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)を取得してください。

2-2-2 権限の登録

①以下 URL にアクセスします。

https://ドメイン名-admin.sharepoint.com/_layouts/15/appinv.aspx

※ドメイン名:契約しているドメイン名

例:mydomain-admin.sharepoint.com

②以下の情報を入力します。

アプリ ID	先ほどコピーした「クライアント ID(a)」
タイトル	EOB
アプリドメイン	localhost
リダイレクト先の URL	https://localhost
権限の要求 XML	製品に同梱されている「PrmXML.txt」の内容をコピー

③「作成」をクリックします。

作成 キャンセル

アプリ ID: d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35

参照

タイトル: EOB

アプリドメイン: localhost

例: "www.contoso.com"

④「EOB を信頼しますか?」との画面が表示されます。

プルダウンメニューにて「スタイルライブラリ」を選択し、「信頼する」をクリックします。

EOB を信頼しますか?

すべてのサイト コレクションのフル コントロールを許可します。

このサイト コレクションのフル コントロールを許可します。

このサイトのフル コントロールを許可します。

リストのフル コントロールを許可します:

スタイルライブラリ

他のユーザーと権限を共有させます。

このサイトのユーザーに関する基本的な情報にアクセスできるようにします。

EOB

信頼する キャンセル

フル コントロールを許可します。

フル コントロールを許可します。

許可します。

します:

す。

本的な情報にアクセスできるようにします。

EOB

信頼する キャンセル

2-2-3 アプリ ID(Realm)の取得

①以下 URL にアクセスします。

https://ドメイン名-admin.sharepoint.com/_layouts/15/TA_AllAppPrincipals.aspx

※ドメイン名:契約しているドメイン名

例:mydomain-admin.sharepoint.com

アプリ		
検索するアプリ プリンシパルの ID: <input type="text"/>		
	アプリの表示名	アプリ ID
X	EOB	i:0i.t ms.sp.ext d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26@dacc834b-cb2e-4ad0-a94c-7f404d17
X	Office 365 Exchange Online	i:0i.t ms.sp.ext 00000002-0000-0ff1-ce00-000000000000@dacc834b-cb2e-4ad0-a94c-7f404d17

②『EOB』と表示されている箇所の、アプリ ID(c)の”@”以降を控えて下さい。

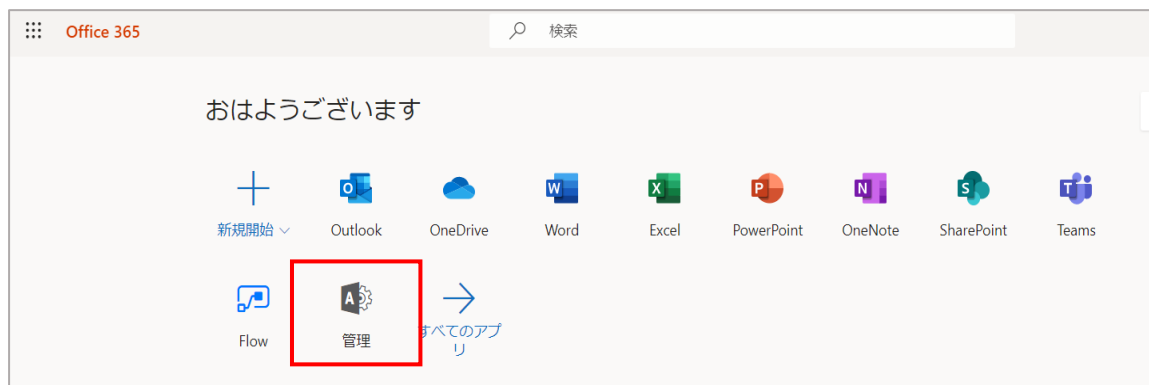
(サイト設定で必要となります)

アプリの表示名		アプリ ID
EOB		i:0i.t ms.sp.ext d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26@dacc834b-cb2e-4ad0-a94c-7f404d179098 C.

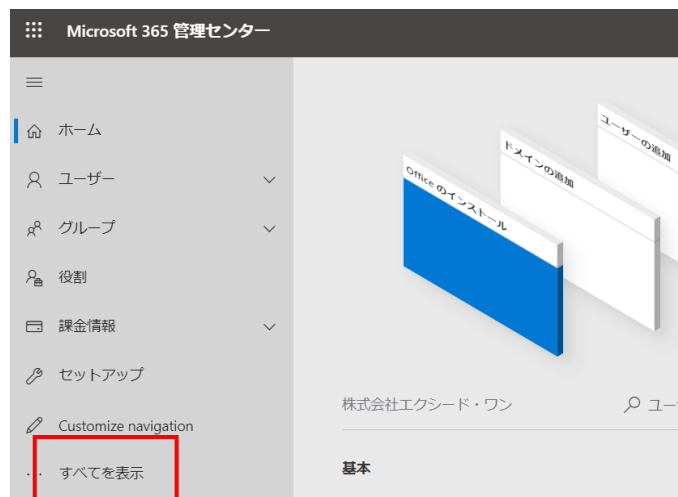
2-3 Azure Active Directory の設定

2-3-1 クライアント ID の取得

①Office365 のメニューより、「管理者」をクリックします。

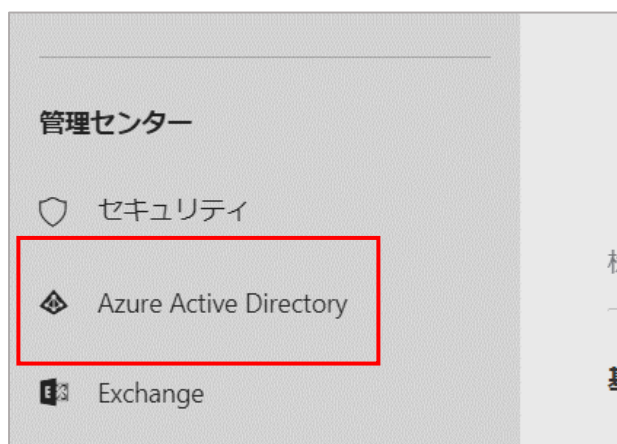


②メニューより「すべてを表示」を選択します。

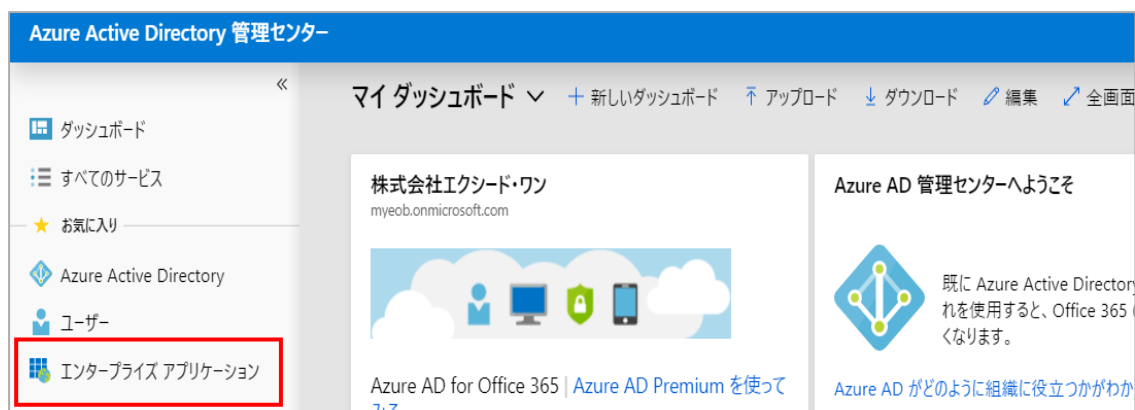


③メニューより管理センターにある

「Azure Active Directory」を選択し、Azure Active Directory 管理センターにアクセスします。



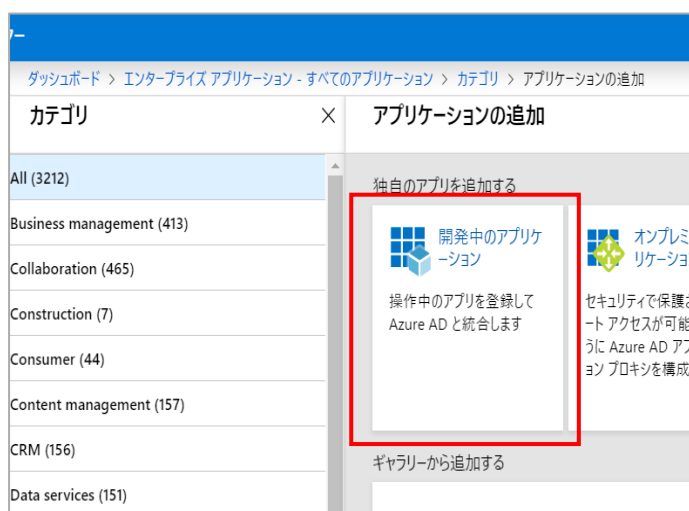
④左メニューより「エンタープライズアプリケーション」をクリックします。



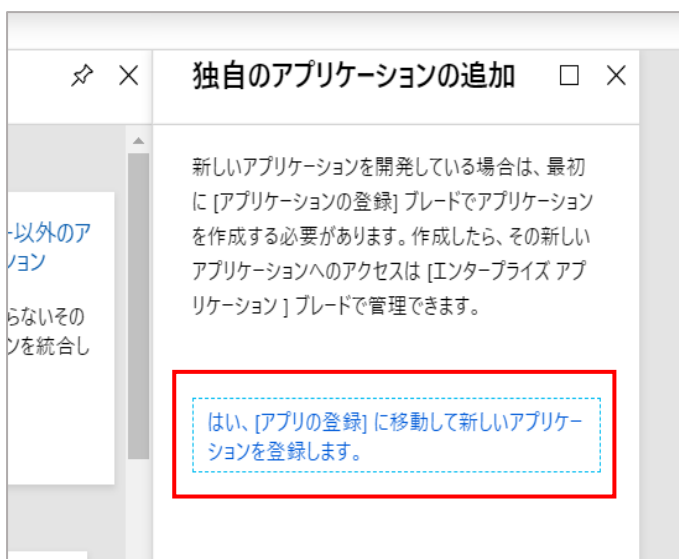
⑤「+新しいアプリケーション」をクリックします。



⑥アプリケーションの追加より「開発中のアプリケーション」アイコンをクリックします。



⑦“独自アプリケーションの追加ブレードから「はい、[アプリの登録]に～」をクリックします。



⑧「+新規登録」をクリックします。



⑧以下の情報を入力、選択します。

入力が終わったら「登録」をクリックします。

名前	EOB
サポートされているアカウントの種類	任意の組織ディレクトリ内のアカウント
リダイレクト URI	http://localhost

アプリケーションの登録

* 名前
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後ほど変更できます)

EOB

サポートされているアカウントの種類
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはどれですか?

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (株式会社エクシード・ワンのみ - シングルテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

選択に関する詳細...

リダイレクト URI (省略可能)
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web http://localhost

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

⑨登録したアプリケーションが表示されるので、クライアント ID(d)を控えて下さい。

(サイト設定で必要となります)

ダッシュボード > エンタープライズ アプリケーション - すべてのアプリケーション > カテゴリ > アプリケーションの追加 > 独自のアプリケーションの追加

EOB

削除 エンドポイント

新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (レガシ) からの変更点を確認すること

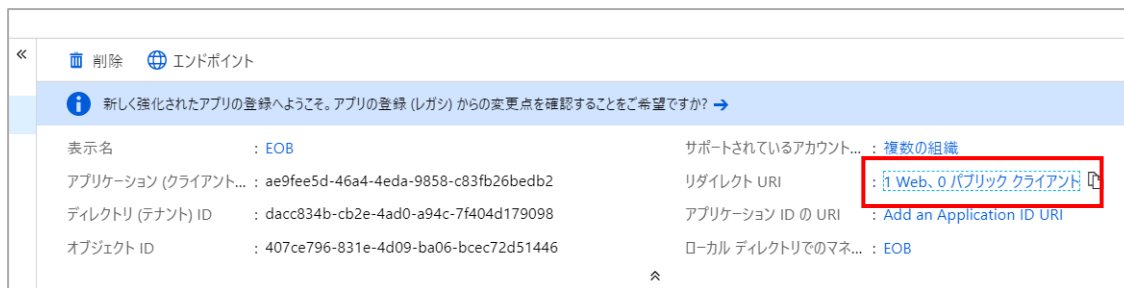
表示名 : EOB

d. アプリケーション (クライアントID) : ae9fee5d-46a4-4eda-9858-c83fb26bedb2

ディレクトリ (テナント) ID : dacc834b-cb2e-4ad0-a94c-7f404d179098

オブジェクト ID : 407ce796-831e-4d09-ba06-bcec72d51446

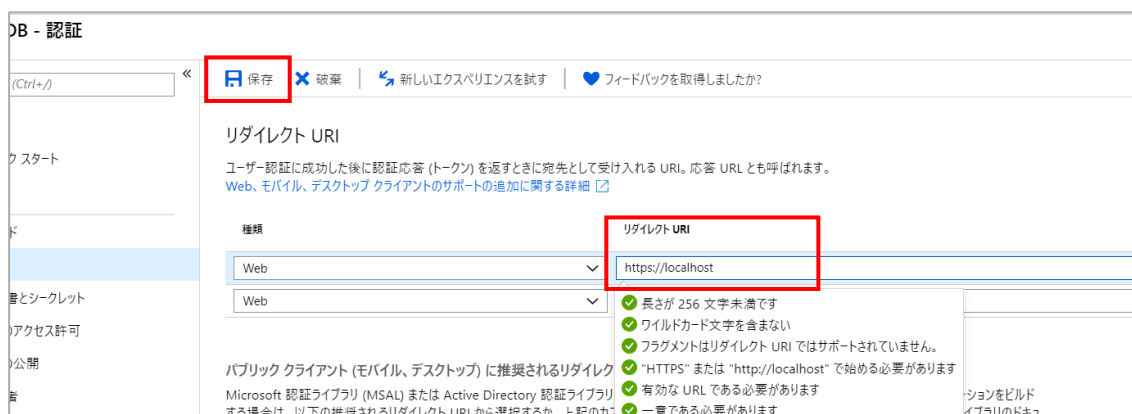
⑩管理センターより、リダイレクト URI の「1web、0 パブリック～」をクリックします。



⑪リダイレクト URI に入っている URL の値を以下の通り変更し、「保存」をクリックします。

値	https://localhost
---	-------------------

※「http://～」を「https://～」へ変更

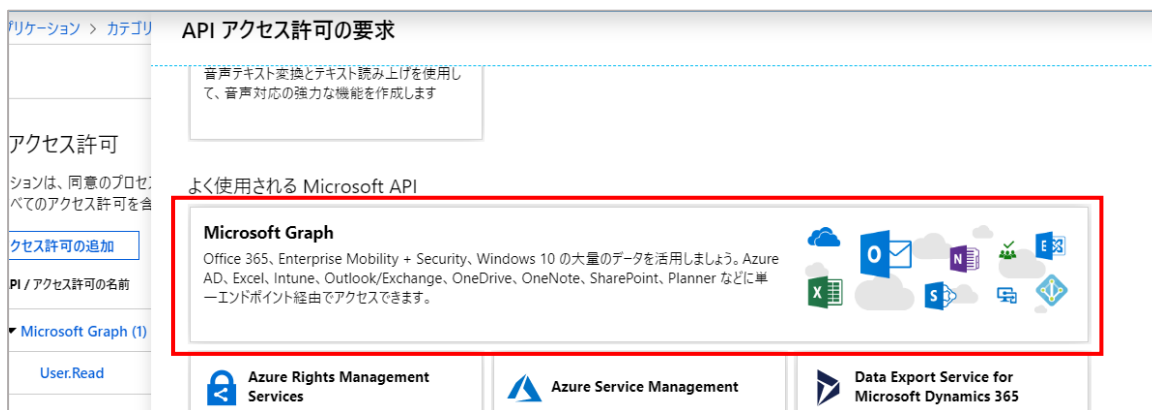


2-3-2 アプリの登録

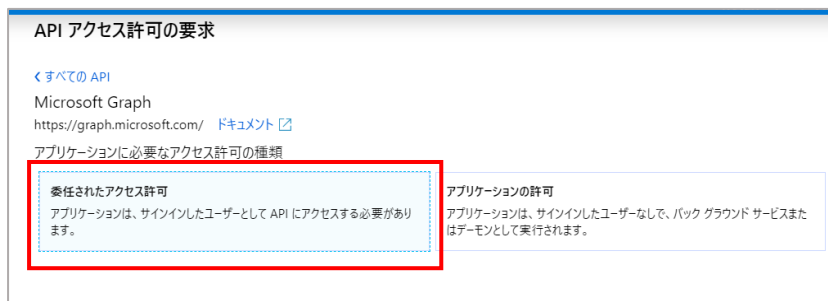
①「API のアクセス許可」ブレードから「+ アクセス許可の追加」をクリックします。



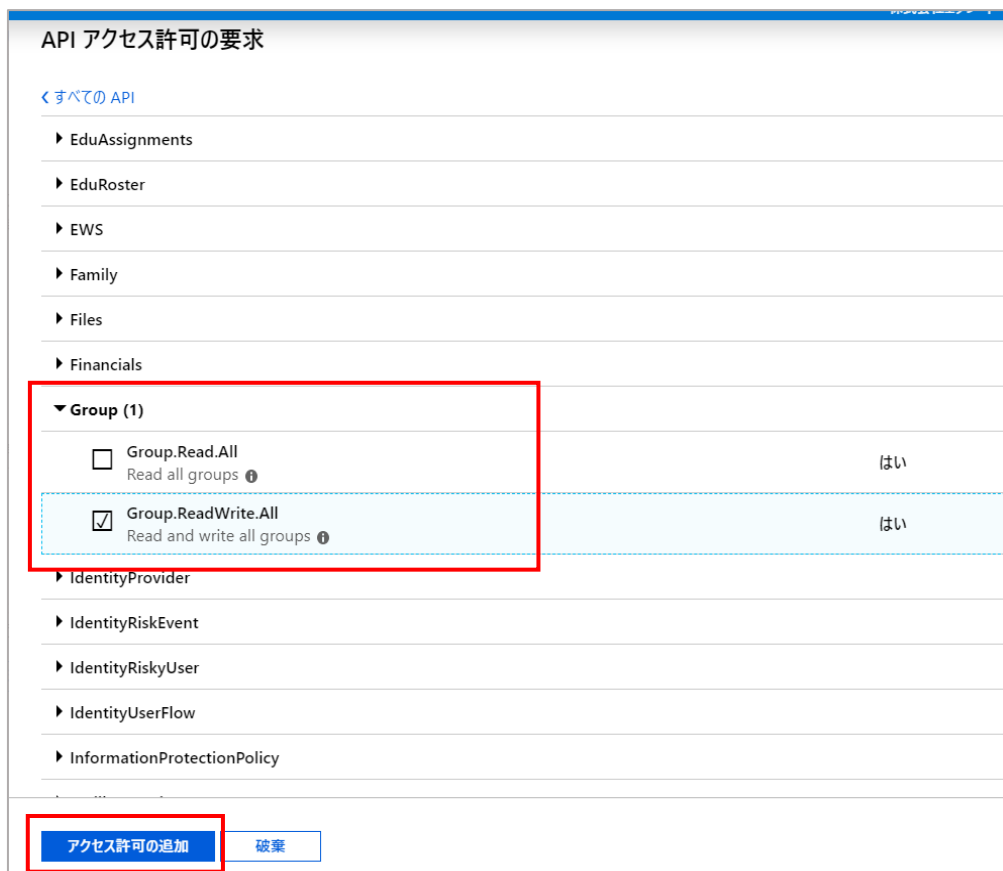
②「API アクセス許可の要求」ブレードから「Microsoft Graph」をクリックします。



③「委任されたアクセス許可」をクリックします。



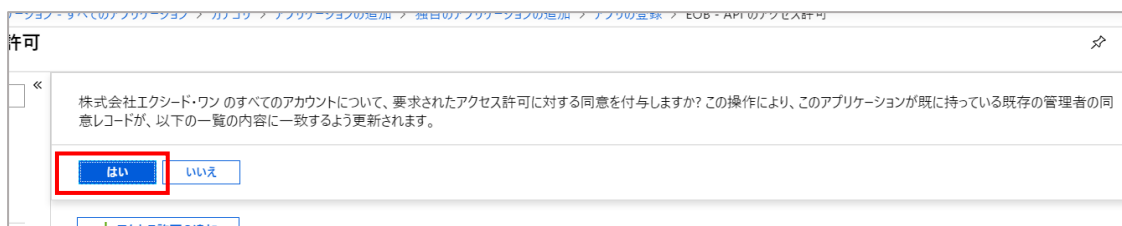
④下部に”アクセス許可を選択する”と表示されるので、「Group」を選択し、「Group.ReadWrite.All」にチェックを入れ、「アクセス許可の追加」をクリックします。



⑤”同意する”にある「<ユーザー名>に管理者の同意を与えます」をクリックします。



⑥ダイアログが表示されるので、「はい」をクリックします。



2-3-3 クライアントシークレットの取得

①”認証とシークレット”ブレードを開き、「+新しいクライアントシークレット」をクリックします。



②以下の情報を入力および選択し、「追加」をクリックします。

説明	任意(EOB,等)
有効期限	なし

クライアントシークレットの追加

説明
EOB

有効期限
 1年
 2年
 なし

追加 キャンセル


③『EOB』と表示されている箇所の、クライアントシークレット(e)を控えて下さい。

(サイト設定で必要となります)

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもありません。

[+ 新しいクライアントシークレット](#)

説明	有効期限	値	
EOB	2299/12/31	e. pRH2NowiWIEV558.QvUJH?:uC/x20GiYf	

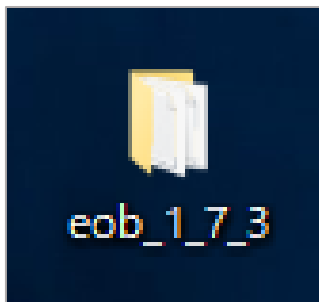
注意事項

- ・クライアントシークレット(e)の有効期限を 1 年又は 2 年と設定された方は、クライアントシークレットの値を更新する必要があります。
- 有効期限が切れる前、もしくは有効期限が切れた場合は「3.更新手順」をご確認ください。

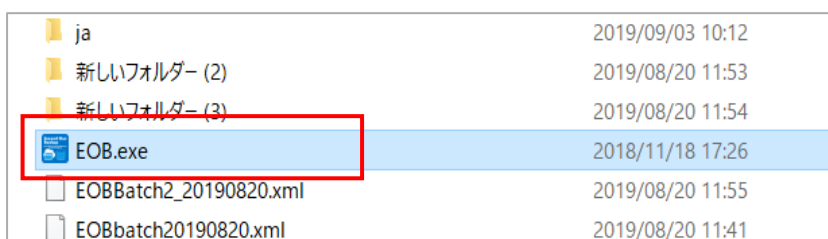
2-4 EOB の起動方法

2-4-1 EOB の起動方法

①EOB をダウンロード・解凍後、ファイルを開きます。

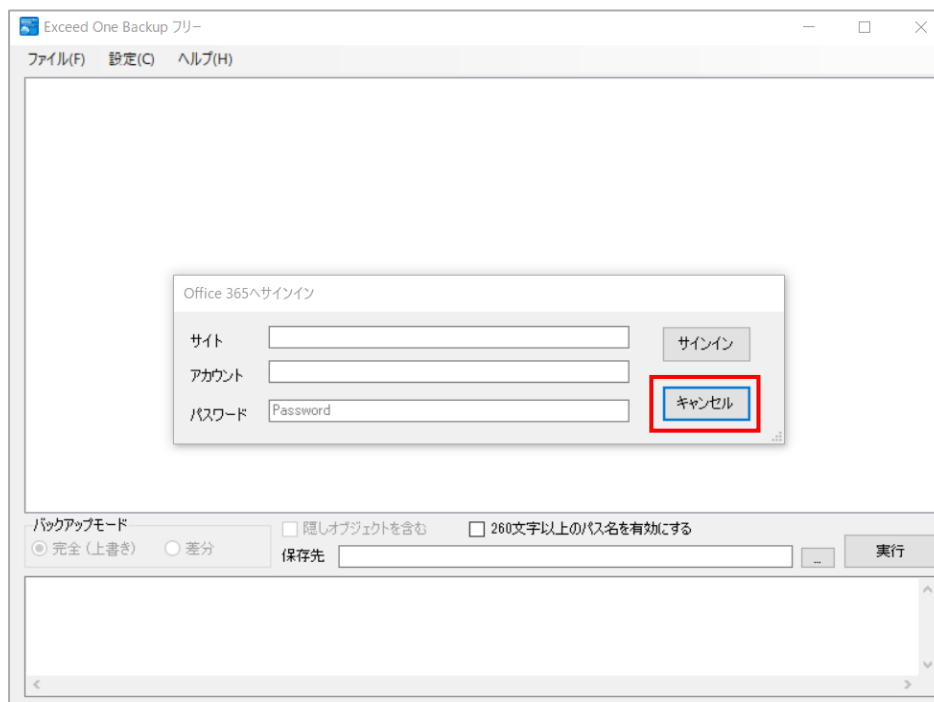


②「EOB.exe」を起動させます。



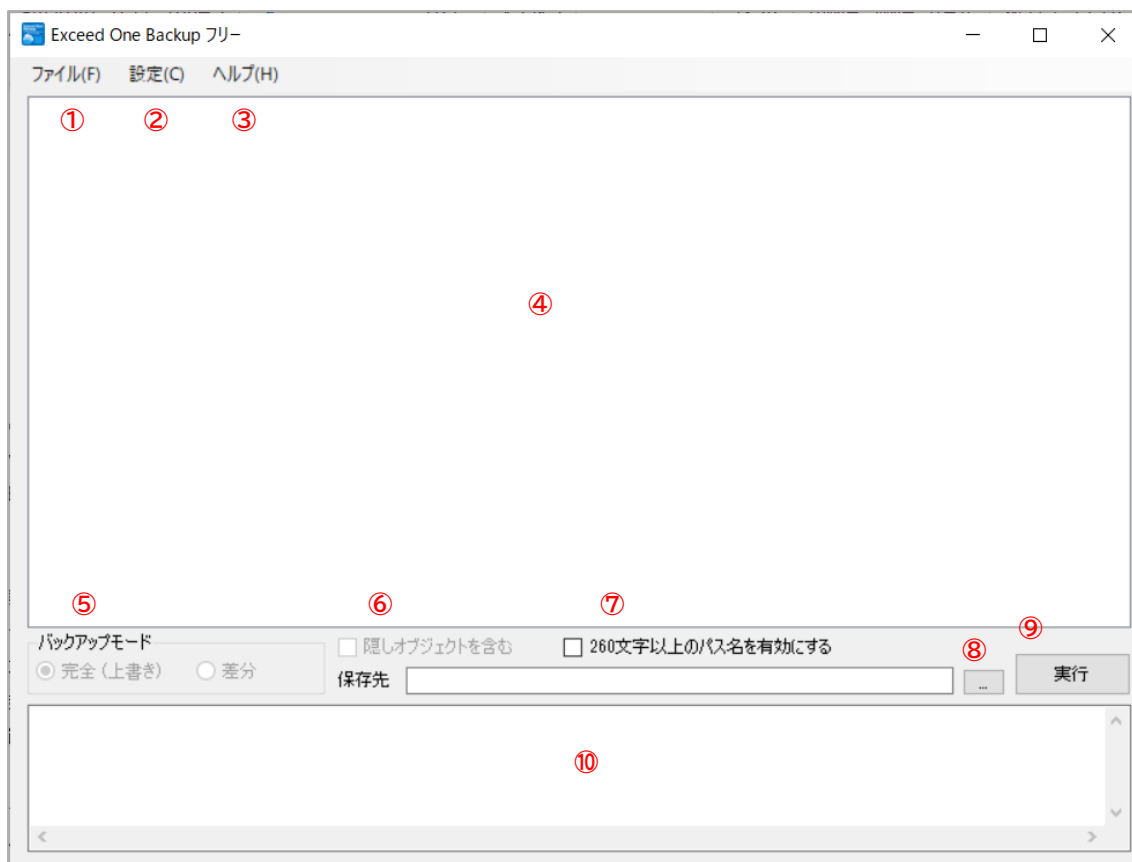
③「Office365 へサインイン」が表示されます。

「キャンセル」をクリックし、サインイン画面を閉じます。



2-5 画面説明

以下、画面構成の説明をします。



①ファイル

- ・サインイン:Office365 へのサインイン画面を表示します。
- ・終了:EOB を終了します。

②設定

- ・言語:言語切り替えを行います。
- ・登録:ライセンスを登録します。
※ライセンス登録済みの場合は「登録解除」となり、ライセンス登録を解除します。
- ・サイト設定:SharePoint からデータをバックアップするための設定を行います。
- ・バッチ設定ファイル作成:バッチ処理用の設定ファイルを作成します。

③ヘルプ

- ・マニュアル:本マニュアルの Web サイトを表示します。
- ・ライセンス:EOB のライセンス規約の Web サイトを表示します。
- ・バージョン:バージョン情報を表示します。

④サイト

サインイン後に、バックアップ対象となるサイトが表示されます。

⑤バックアップモード

バックアップモードを選択できます。

【完全(上書き)】

保存先に同じファイルが存在する場合、上書き保存します。

【差分】

保存先に同じファイルが存在する場合、「ファイルサイズ」「更新日時」が同じ場合は上書きしません。

⑥隠しオブジェクトも含む

SharePoint のサイト設定上、不可視属性(Hidden)がついているオブジェクトを保存するかを選択します。

【チェックあり】

隠しオブジェクトも保存します。

【チェックなし】

隠しオブジェクトは保存しません。

⑦260 文字以上のパス名を有効にする

保存先のパス名(ファイル名含む)が 260 文字以上の場合でもファイルを保存します。

注意事項

・Windows の仕様により、保存先のフォルダー名とファイル名の組み合わせが「**260 文字以上**」となる場合、エクスプローラーなどで操作(編集・削除等)ができなくなる場合があります。

⑧保存先

保存先を選択、もしくは入力します。

⑨実行(処理中はキャンセル)

バックアップを開始します。

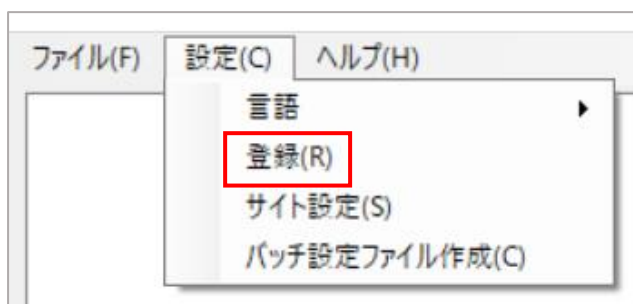
バックアップ処理中に「キャンセル」とクリックすると処理が中止されます。

⑩実行ログ

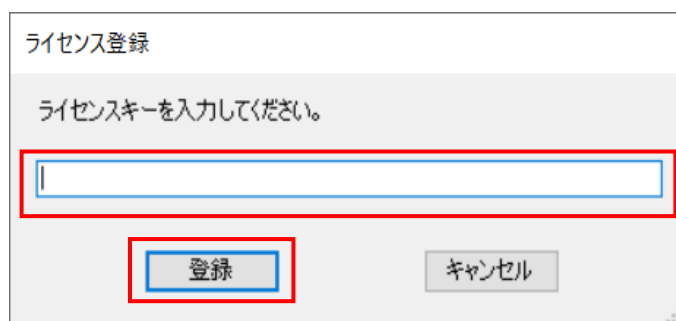
処理中の状況が表示されます。

2-6 ライセンス登録

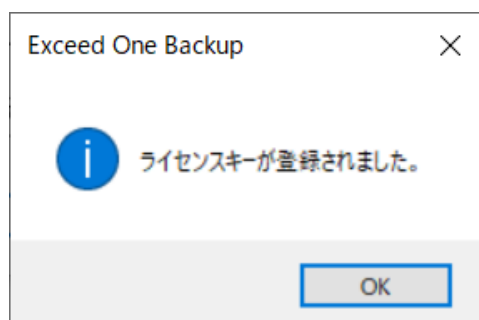
①メニュー「設定」→「登録」を選択し、登録画面を表示します。



②発行されたライセンスキーを入力し、「登録」をクリックします。



③ライセンスが登録されます。

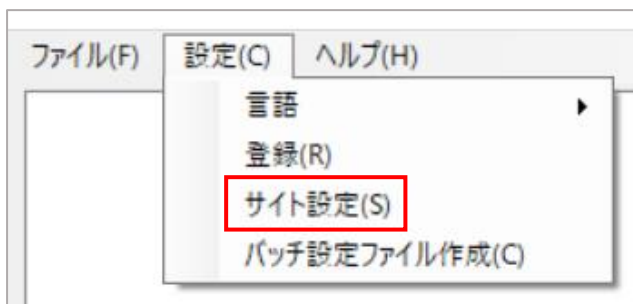


④ライセンス登録が失敗した場合は、ライセンスキーを確認し、再度登録をおこなってください。



2-7 サイト設定

①メニュー「設定」→「サイト設定」を選択し、サイト設定画面を表示します。

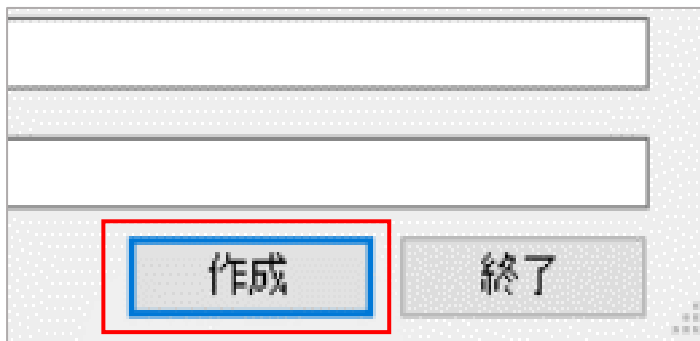


②サイト設定画面で、以下の値を入力します。

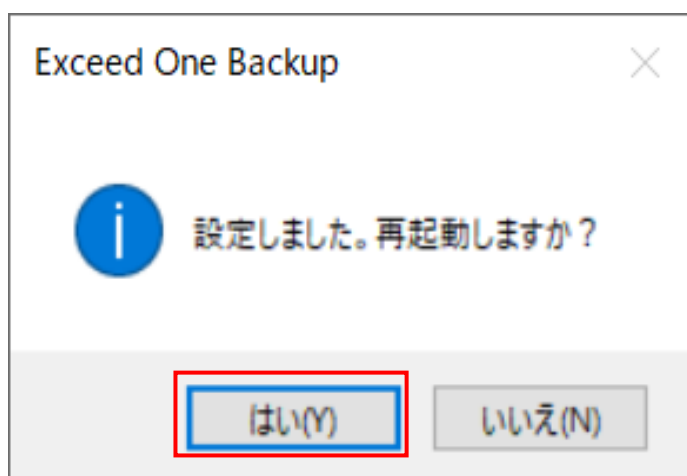
【SharePoint】	
a.クライアント ID	3-2-1 にて取得した ID
b.クライアントシークレット	3-2-1 にて取得した ID
c.アプリ ID	3-2-3 にて取得した ID
【Azure AD】	
d.クライアント ID	3-3-1 にて取得した ID
e.クライアントシークレット	3-3-3 にて取得した ID

A screenshot of the 'サイト設定' (Site Settings) dialog box. The dialog is divided into two sections: 'SharePoint' and 'Azure AD'. Each section contains three input fields: 'クライアントID' (Client ID), 'クライアントシークレット' (Client Secret), and 'アプリID' (App ID). The labels for the Client ID and Client Secret fields in both sections are highlighted with red boxes. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: '作成' (Create) and '終了' (End).

④作成をクリックします。



⑤再起動の確認画面が表示されたら「はい」をクリックします。



2-8 Office365 サインイン

①再起動後、自動的に EOB が起動されます。

Office365 へのサインイン画面に以下の値を入力します。

サイト	SharePoint サイト名 (例: mydomain.sharepoint.com)
アカウント	Office365のアカウント名
パスワード	パスワード

Office 365へサインイン

サイト [] サインイン

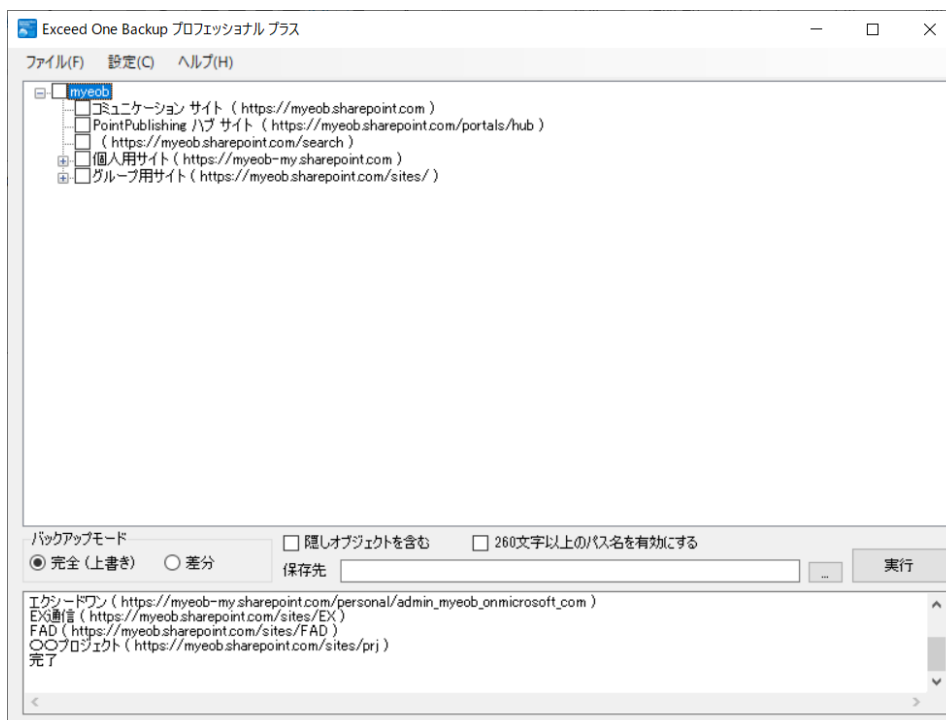
アカウント [] キャンセル

パスワード []

②「サインイン」をクリックします。

SharePoint への登録、および EOB の設定が正しければ SharePoint へサインインし、サイトツリーが表示されます。

以上でインストールは完了となります。

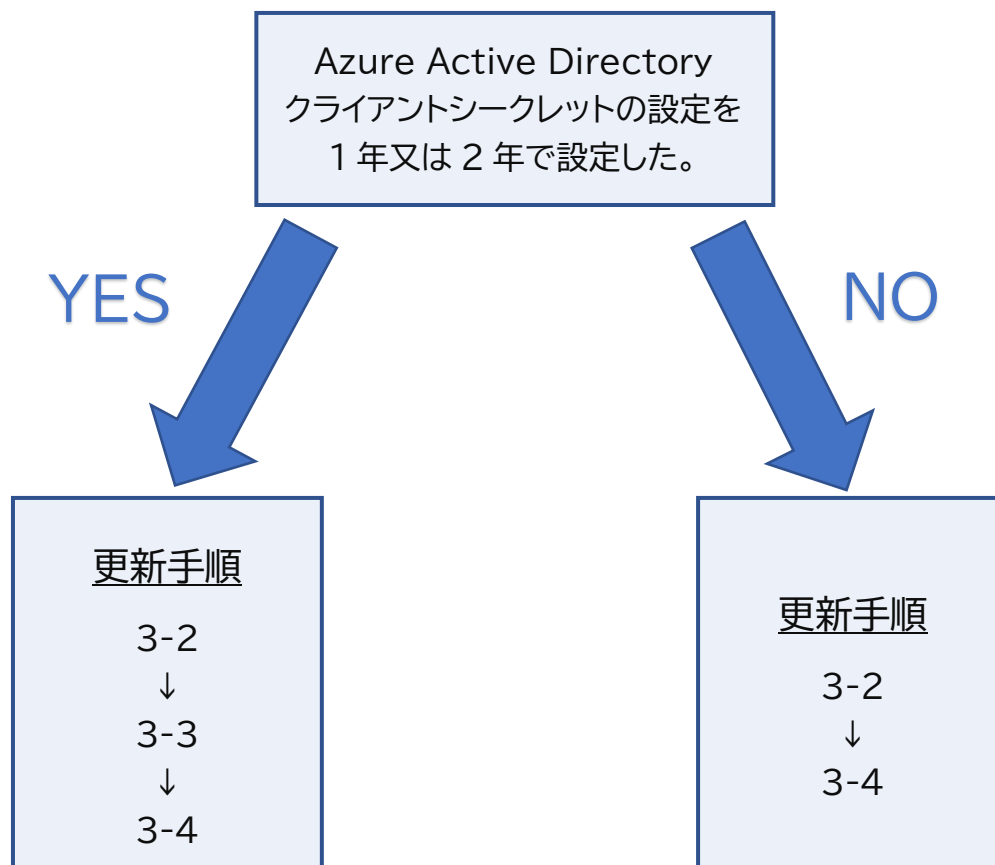


※サインインが正常にいかない場合は、再度設定を確認してください。

3. ライセンス更新

3-1 ライセンス更新の流れ

有効期限のあるクライアント ID やクライアントシークレットは、有効期限が切れる前、もしくは有効期限が切れた場合に値の更新する必要があります。下記チャートに進み、必要な更新手順を行ってください。



・SharePoint Online
・Azure Active Directory
のクライアントシークレットを
更新してください。

・SharePoint Online
のクライアントシークレットを
更新してください。

注意事項

・「2.インストール」にて設定した各種 ID を「3-4 サイト設定」にて使用しますので、
ご用意をお願いします。

3-2 SharePoint Online の設定

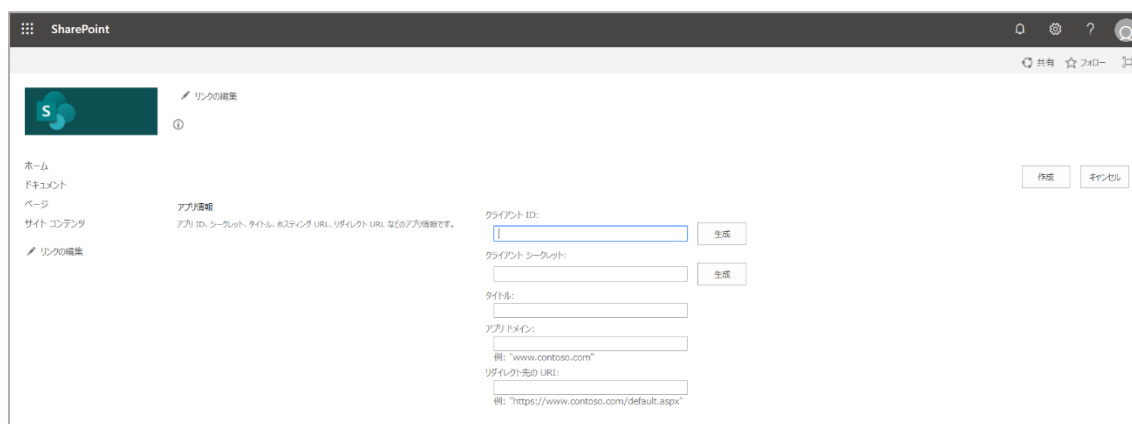
3-2-1 クライアント ID、クライアントシークレットの取得

①以下 URL にアクセスします。

https://ドメイン名.sharepoint.com/_layouts/15/appregnew.aspx

※ドメイン名 契約しているドメイン名

例:mydomain.sharepoint.com



②以下の情報を入力します。

クライアント ID	「生成」ボタンを押下すると、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	「生成」ボタンを押下すると、自動的に入力されます。
タイトル	EOB
アプリドメイン	localhost
リダイレクト先の URI	https://localhost

アプリ情報
 アプリ ID、シークレット、タイトル、ホスティング URL、リダイレクト URL などのアプリ情報です。

クライアント ID: 生成

クライアントシークレット: 生成

タイトル:

アプリドメイン:
 例: "www.contoso.com"

リダイレクト先の URI:
 例: "https://www.contoso.com/default.aspx"

③「作成」をクリックします。

クライアント ID:	<input type="text" value="d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26"/>	<input type="button" value="生成"/>
クライアント シークレット:	<input type="text" value="rqqXKzvxDhdohURphSvqGGkj4tac2Fi7ISfs/nRxp98"/>	<input type="button" value="生成"/>
タイトル:	<input type="text" value="EOB"/>	
アプリ ドメイン:	<input type="text" value="localhost"/>	
リダイレクト先の URI:	<input type="text" value="https://localhost"/>	
	例: "https://www.contoso.com/default.aspx"	
		<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

④『アプリ ID が正常に作成されました。』と表示されたら、クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)を控えて下さい。
(サイト設定で必要となります)

アプリ ID が正常に作成されました。	
a.	クライアント ID: d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35d4461b8a26
b.	クライアント シークレット: rqqXKzvxDhdohURphSvqGGkj4tac2Fi7ISfs/nRxp98
	タイトル: EOB
	アプリ ドメイン: localhost
	リダイレクト先の URI: https://localhost

注意事項

- ・クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)の有効期限は 1 年となっております。
- EOB のエラーメッセージに Token request failed.のエラーが出た場合は、クライアントシークレット(b)有効期限が切れている可能性がありますので、**「3.更新手順」**で再度クライアント ID(a)とクライアントシークレット(b)を取得してください。

3-2-2 権限の登録

①以下 URL にアクセスします。

https://ドメイン名-admin.sharepoint.com/_layouts/15/appinv.aspx

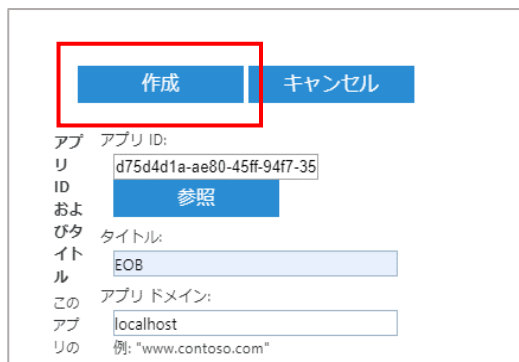
※ドメイン名:契約しているドメイン名

例:mydomain-admin.sharepoint.com

②以下の情報を入力します。

アプリ ID	先ほどコピーした「クライアント ID(a)」
タイトル	EOB
アプリドメイン	localhost
リダイレクト先の URL	https://localhost
権限の要求 XML	製品に同梱されている「PrmXML.txt」の内容をコピー

③「作成」をクリックします。



The screenshot shows a form for creating an application. At the top, there are two buttons: '作成' (Create) and 'キャンセル' (Cancel). The '作成' button is highlighted with a red rectangle. Below the buttons, the form contains the following fields:

- アプリ ID: d75d4d1a-ae80-45ff-94f7-35
- 参照: 参照 (button)
- タイトル: EOB
- アプリドメイン: localhost
- 例: "www.contoso.com"

④「EOB を信頼しますか?」との画面が表示されます。

プルダウンメニューにて「スタイルライブラリ」を選択し、「信頼する」をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled 'EOB を信頼しますか?' (Trust EOB?). The dialog contains the following text:

- すべてのサイト コレクションのフル コントロールを許可します。
- このサイト コレクションのフル コントロールを許可します。
- このサイトのフル コントロールを許可します。
- リストのフル コントロールを許可します:

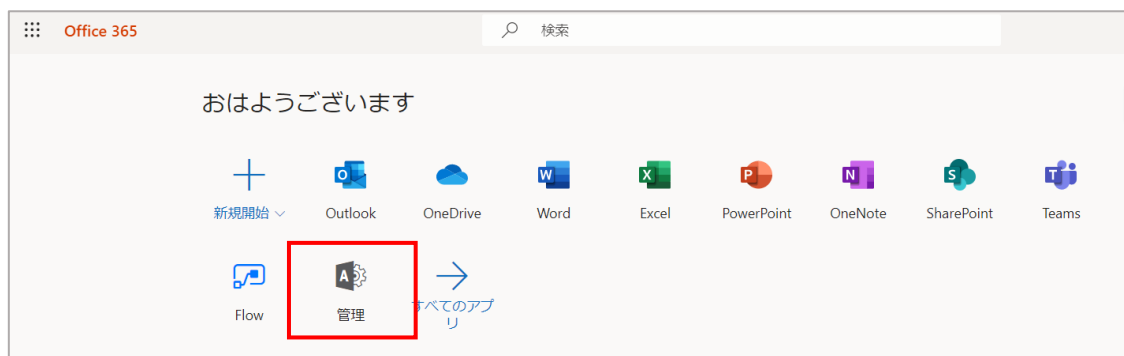
The dropdown menu for the last item is highlighted with a red rectangle and shows 'スタイルライブラリ' (Style Library) selected. To the right of the dialog is the EOB logo. At the bottom right, there are two buttons: '信頼する' (Trust) and 'キャンセル' (Cancel).



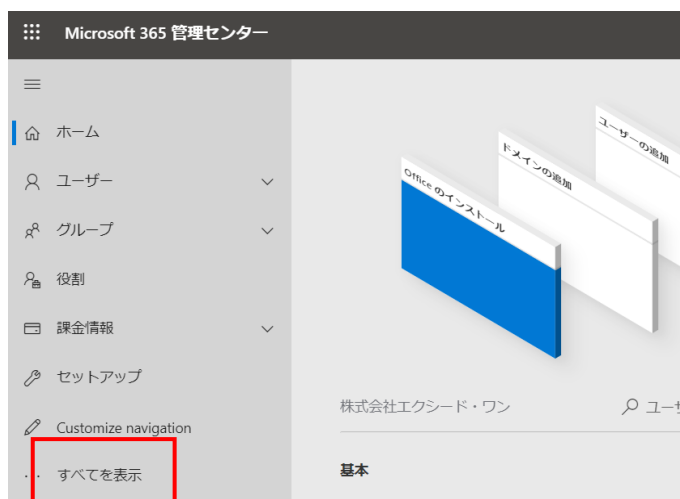
This is a close-up screenshot of the '信頼する' (Trust) button from the dialog box above. The button is highlighted with a red rectangle.

3-3 Azure Active Directory の設定

①Office365 のメニューより、「管理者」をクリックします。

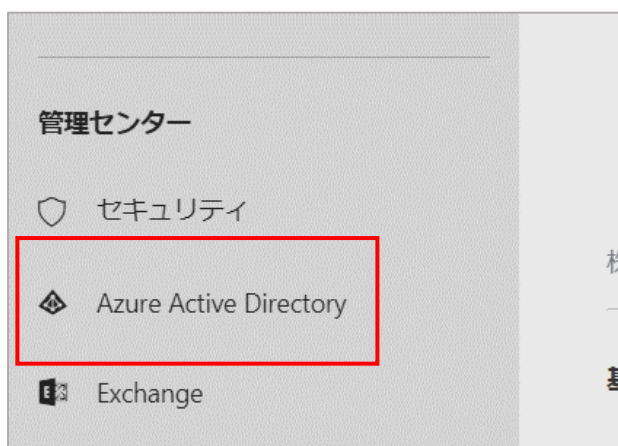


②メニューより「すべてを表示」を選択します。

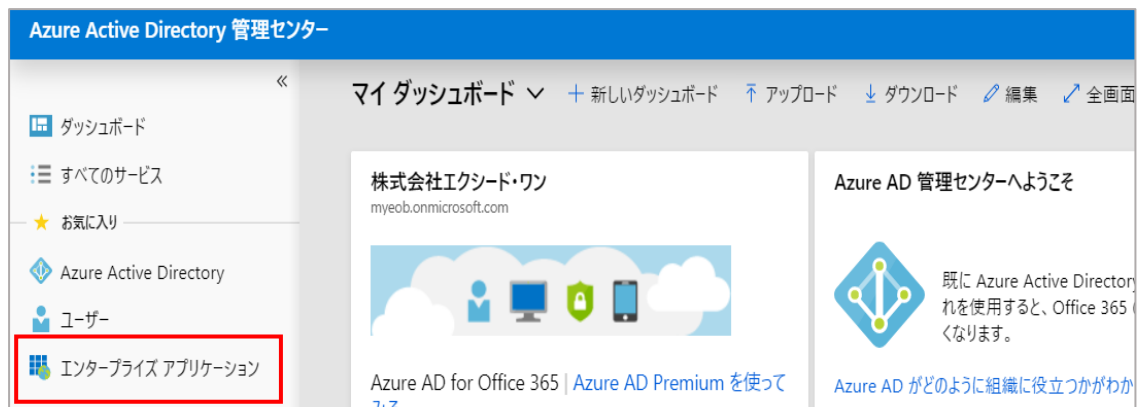


③メニューより管理センターにある

「Azure Active Directory」を選択し、Azure Active Directory 管理センターにアクセスします。



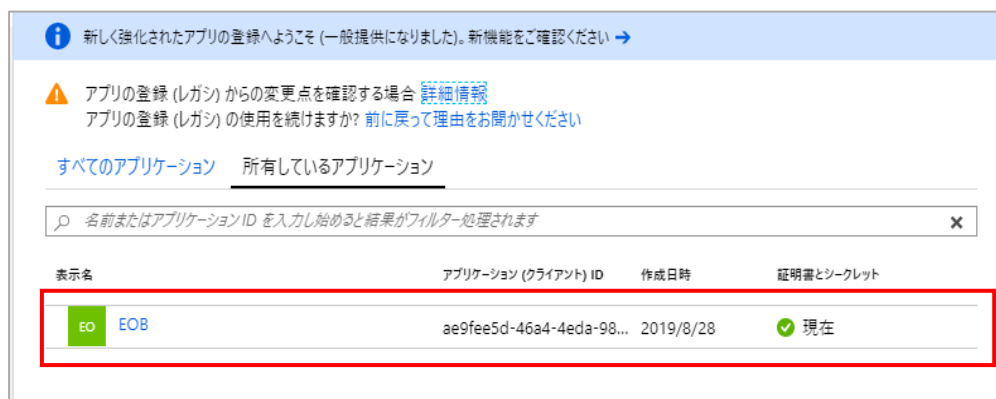
④左メニューより「エンタープライズアプリケーション」をクリックします。



⑤左メニューより「アプリの登録」をクリックします。



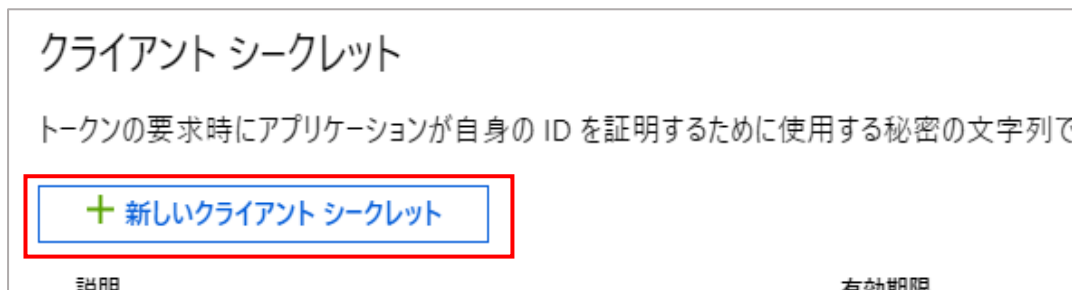
⑥”すべてのアプリケーション”より「EOB」をクリックします。



- ⑦「認証とシークレット」ブレードを開き、既存のクライアントシークレットを削除するために「ゴミ箱アイコン」をクリックします。



- ⑧「+新しいクライアントシークレット」をクリックします。



- ⑨以下の情報を入力および選択し、「追加」をクリックします。

説明	任意(EOB,等)
有効期限	なし

クライアント シークレットの追加

説明
EOB

有効期限
 1年
 2年
 なし

追加 キャンセル


⑩『EOB』と表示されている箇所の、クライアントシークレット(e)を控えて下さい。

(サイト設定で必要となります)

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

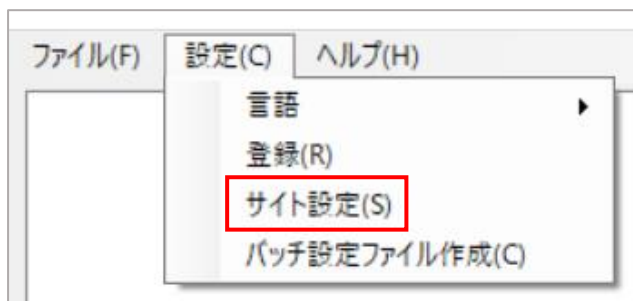
[+ 新しいクライアントシークレット](#)

説明	有効期限	値	
EOB	2299/12/31	e. pRH2NowiWIEV558.QyUH?:uC/x20GiYf	

3-4 サイト設定

①EOB を起動します。

②メニュー「設定」→「サイト設定」を選択し、サイト設定画面を表示します。

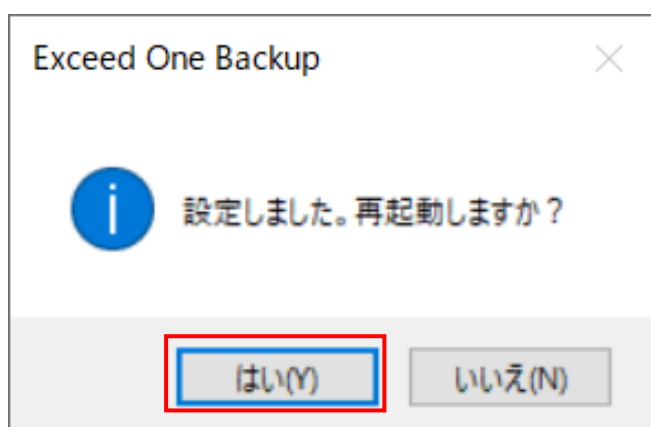


③サイト設定画面で、以下の値を入力します。

【SharePoint】	
a.クライアント ID	3-2 にて取得した ID
b.クライアントシークレット	3-2 にて取得した ID
c.アプリ ID	2-2-3 にて取得した ID
【Azure AD】	
d.クライアント ID	2-3-1 にて取得した ID
e.クライアントシークレット	3-3 にて取得した ID

A screenshot of the 'サイト設定' (Site Settings) dialog box. The dialog is divided into two sections: 'SharePoint' and 'Azure AD'. Each section contains three input fields: 'クライアントID' (Client ID), 'クライアントシークレット' (Client Secret), and 'アプリID' (App ID). The labels for the Client ID and Client Secret fields in both sections are highlighted with red boxes. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: '作成' (Create) and '終了' (End).

⑤再起動の確認画面が表示されたら「はい」をクリックします。



⑥以上でライセンス更新は完了となります。

Exceed One Backup インストール・更新マニュアル

製造・販売 : Exceed One Backup インストール・更新マニュアル

改定 : 2019/12/10 Ver.1.7.2 (新 Azure Portal 版)

